

CITIZENSHIP
STUDIES



未来に繋げる
時代祭の魅力
～京都の文化を支える人々～



2022年度立命館大学時代祭応援プロジェクト有志

時代祭の概要



初期の時代祭行列の写真

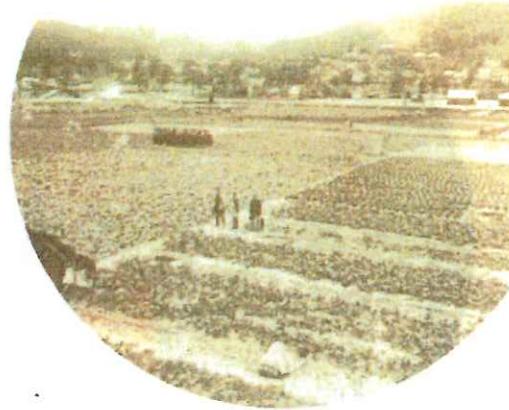
・時代祭とは

時代祭は、京都の三大祭の一つであり、1895年から、現在まで続いている長い歴史を誇る祭です。また、平安京が建てられた平安時代から都が東京になる明治維新時代まで、京都が日本の首都であった時代における風俗の移り変わりを表現する祭でもあります。

平安神宮、「京都三大祭 時代祭」(<http://www.heianjingu.or.jp/festival/jidaisai.html>) (最終検索日：2022年12月20日)

京都観光Navi、「どんな祭？時代祭」(<https://ja.kyoto.travel/event/major/jidai/>) (最終検索日：2022年12月20日)

当時の京都：
北西から南東



当時の京都：
疎水から見た北の方

・時代祭ができた当時の京都

1864年に起きた蛤御門の変により、火災が発生し、人口の多くが流出しました。また、幕末の戦乱や首都が東京への遷都により、長い間日本の首都だった京都の衰退が進行しました。そのような状況の下、1895年に第4回内国勸業博覧会が京都で開催されることになり、平安神宮が建てられた岡崎一帯をその会場として、多くの展示館が建てられました。同年の秋、平安時代に京都遷都1100年記念式が開催されると同時に、その最終日に時代風俗の行列が行われました。それが今の時代祭の原型となっています。

平安神宮、「京都三大祭 時代祭」〔<http://www.heianjingu.or.jp/festival/jidaisai.html>〕（最終検索日：2022年12月20日）

京都市、「蛤御門の変とどん焼け」

〔<https://www2.city.kyoto.lg.jp/somu/rekishi/fm/nenpyou/htmlsheet/toshi25.html>〕（最終検索日：2022年12月20日）



時代祭に使用される祭具の整備



・時代祭の持つ重要性

時代祭は、京都という地域において、地域住民による伝統産業の保全、維持という重要性を有する祭です。京都が衰退していた時期において、衣装産業なども共に衰退していきました。しかし、時代祭を通して、衣装が使われつつ、修繕する必要性が生じることで、衣装産業が保たれてきたのです。それに加えて、京都の衰退に対し、地域住民が京都の活気を戻すために、自発的に取り組んだ祭であり、今においても時代祭は地域住民の支えにより続いています。



・ 第八社とは

1921年以降から今日に至るまで、維新勤王隊は中京区朱雀地区の各学区が担当しています。第八社（正式には平安講社第八社）は、時代祭の先頭に立ち、大役を務めことから、「朱雀の誇り」ともされる維新勤王隊を担当しています。

時代祭を支える人々

時代祭当日まで、地域ではどのような準備をしているのでしょうか？
この章では、私たち2022年度シチズンシップ・スタディーズ時代祭応援プロジェクト受講生が参加し、密着取材した2022年度に実施された第八社の取り組みを例に、
時代祭とそれを支える地域について紹介します！

7月3日※ 八社の総会 活動スタート

人事報告や予算、今年力を入れることについて話し合います。今年は、100周年記念事業として隊士の衣装の整備に力を入れることを決定しました。



隊士の衣装

朱雀学区限定
時代祭 明治維新勤王隊
隊士募集
申込は8月末頃まで

10/22
開催



対象 / 朱雀学区・中学生～35歳くらいまでの男子

募集締切
期間 / 9月20日～10月中旬
時間 / 19時30分開始
場所 / 西ノ京中学校体育館

【連絡先】

寄付金集めや隊士の募集については8月以降に行っています。その方法は八社の中でも各学区によって異なるそうです。

8月7日 衣装の虫干し

衣装を収蔵庫から出し、風通しを良くすることで、衣装の持ちが良くなります



隊士の小袖



隊士の袴



維新勤王隊の旗

。時代祭に関わって、良かったなと思えたエピソードなどあれば教えて下さい。
「時代祭、京都が好きという人が参加してくれるため、誇りを持って参加してくれる人に出会えるのがいいところですね。」

。隊士募集はどのようになさっているのですか？
「募集のかけ方が八社の中でも学区によって異なります。特に、『息子の晴れ姿が見たい』という保護者さんの希望で入隊される方も多いです。」

。役員さんはどんな方がなさっているのですか？
「長く地域に貢献してきた信頼のある方が役員になります。普段は異なるフィールドで地域活動に取り組んでいる方が時代祭を期に集まります。」

役員さんに伺ってみました

CITIZENSHIP
STUDIES

9月20日 入隊式 練習開始!

時代祭当日まで、隊士たちは本番に向けて毎日練習します



新人隊士の練習



隊士が当日履く草鞋は、役員さんが一足ずつ紐を通して作っています

太鼓の張り替え作業
この日は、壊れた太鼓を修理していました。楽器のメンテナンスは、指導員の方が中心で行うそうです



最後に、音楽指導員になられたきっかけを教えてください。
「隊士としてのキャリアの長い方から指導員にならないかとお誘いがかかりました。指導員の後継者は、年齢に偏りなく育成しています。」

○当日、音楽指導員の方々はどんなことをされていますか？
「音楽指導員の皆さんも当日は隊士と同じ衣装を着て行進に参加します。基本的には隊士の周辺で行進の補助の役割をしています。」

○練習ではどんなところをチェックしているのですか？
「音がきちんと出ているか、指使い、姿勢などをチェックしています。」

指導員さんに伺ってみました

CITIZENSHIP STUDIES

10月9日 衣装渡し



倉庫から出した隊士の衣装の状態を確認し、サイズ分けをしていきます



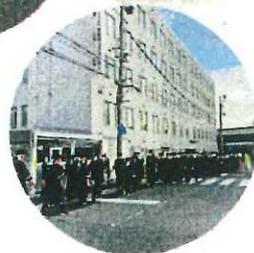
10月21日 前日準備

西ノ京中学校に集まり、当日の準備を行います。



10月22日 時代祭当日

茶法被
当日、安全安心な行進ができるよう補佐をしています



最後、朱雀地区に帰ってきて
戌辰行進曲を演奏します。

大学生が地域に参加すること

行列を見たらほっとする

八社の方々が毎日練習する様子を見ていたので、彼らのハレの場を見るとお手伝いをしてよかったなと思います。装束店としても、本番の十月二十二日に向けて四月から衣装の修復と新調を行っているので行列を見るとほっとします。

伝統工芸を使う人にとっては日用品！

松下装束店は神社の装束・祭具一式の調達や修理などを行っています。神職の方々にとって、これらは特別なものではなく日用品です。伝統工芸品を特別なもの・守るものとして考えると残るものも残らなくなります。「継承と継続」が私たちの仕事です。職人さんに継続的に仕事を持っていくことこそが、日常の維持につながります。

自分が興味を持って一歩踏み出すかどうか。地域は歓迎してくれる。

大学生ほど地域活動に時間を使える時はないです！シチズンシップ・スタディーズの時代祭応援プロジェクトは、京都の三大祭に大学生が関われる貴重なプログラムです。少しでも興味・関心があれば、様々な地域活動に参加し、色々な出会いと経験を得ることで、何をやりたいかが明確になってくると思います。気軽に地域活動に参加して、興味と学びをことごとく追求してほしいです。



興味本位で参加した地域活動から、人生を大きく動かすほどの学びを得た。

彼女が紡ぐ衣装が、皆のハレの日を彩っている。



ものを守ることも、地域の伝統を守ることです。
 長年受け継がれてきた隊士衣装の保全に、元受講生の竹崎さんが携わっています。今回、松下装束店に勤務されている竹崎さんに「受け継ぐことと大学生の地域参加」について貴重なお話をお聞きしました。

京都っほいことしたい！から

シチズンシップ・スタディーズへ参加

京都っほいことしたい！と思い、シチズンシップ・スタディーズ※や伝統芸能サークルの「和太鼓ドン」に参加しました。とにかく興味を持つと飛び込んでいくスタイルで、日々新しい学びを得ると共に、お祭り・伝統工芸についてよりいっそう興味がわきました。

立命館大学から京都美術工芸大学へ！

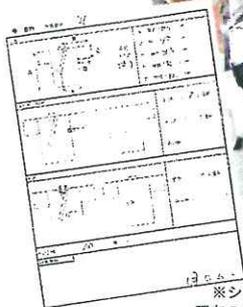
より深く工芸について学ぶ。

京都の伝統に触れてきたことから、より伝統工芸について勉強したいという思いが強まり、京都美術工芸大学への入学を決めました。

大学では文化財修復について学び、

一つの工芸品に複数の技術が集約されていることに感動しました。大学の授業では、伝統工芸保全についての座学から保全方法について学び、また伝統工芸品を修繕する手技も学びました。大学を変更した後も、サポートとして時代祭に関わっていました。その時に隊士の母親から衣装の状態が悪いという意見をいただき、衣装の品質調査を企画しました。衣装カルテを作成し、カルテデータを基に、衣装の整理をすることができました。

受け継ぐこと



※シチズンシップ・スタディーズ！(旧科目)
現在のシチズンシップ・スタディーズとは別科目



竹崎 百合さん

シチズンシップ・スタディーズとは？

地域社会で行われる活動に参加し、運営を支えることを通して、携わる人々の役割や責務を体験的に学ぶと同時に自ら課題を見つけ、取り組む科目です。今回は、その中でも2022年度時代祭応援プロジェクトの活動を紹介していきます。

9.20
入隊式



10.2
平安神宮オリ
エンテーション



10月～
隊士練習補助



コアタイム

過年度の受講生の自主企画活動

活動の中には、朱雀地域を拠点とする「平安講社第八社」への貢献を目指す自主企画があります。下記の写真は自主企画の一例です。

●広報ポスター



●LINE公式



CITIZENSHIP STUDIES

10.09
衣装渡し



10.15
宣状式



10.22
時代祭本番！！



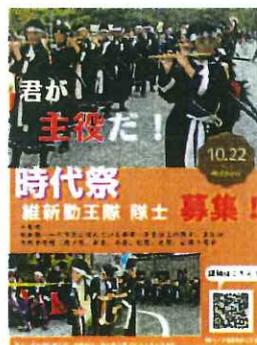
前日準備



アカウント・隊士用冊子



●QRコードで隊士募集・着付け動画の製作



「時代祭の準備を行なう第八社の取り組みに参加することによって、ただ参列するだけでなく、当日まで地域の方々がどのような準備をなさっているのかを知り、時代祭についての解像度が上がりました。」

法学部3年

「平安神宮など、普段は観光地としてしか見ていなかったものについて、歴史的背景を聞くことができ、新しい視点で歴史的建造物を見る視点が増えました。」

国際関係学部2年

「華やかな京都の祭・文化を支える地域の方々を支える地域の方々という水面下の部分を体験できました。」

文学部3年

「多くの観客に見守られ、交通整備された街を維新勤王隊の衣装で進行する貴重な経験は、得られ難く楽しめました！自ら、考え、動き、学び取る姿勢を学べたことは、今後の人生の糧になると考えました。」

文学部3年

「京都の文化と歴史を直接体験することができ、日本の
伝統と文化、歴史の中心とも言われる京都で留学する機
会を活かすことが出来ました。」

国際関係学部2年

「地域住民によって時代祭が支えられていることを地域活動へ
の参加を通して体験することが出来ました。」

文学部3年

「京都を復興するために市民によって開催された時代祭が、現
在も地域の連帯を強め、さらに伝統産業の需要を生み出して
いるという点で意義のあるものだと実感することができまし
た。」

文学部3年

編集後記

この冊子は、手に取ってくださった皆さんに、シチズンシップ・スタディーズの活動および時
代祭を支える第八社の活動の魅力をより深く理解し、今後の学びを深めて頂きたいという思い
で製作しました。今回の冊子を作成するにあたり、関わっていただいた皆様に心から感謝を申
し上げます。

2022年度立命館大学時代祭応援プロジェクト有志一同



時代祭応援プロジェクト

CITIZENSHIP STUDIES



発行者名： 2022年度シチズンシップ・スタディーズ
時代祭応援プロジェクト受講生有志

連絡先： rits.citizenship22@gmail.com

日付： 2023年 1月9日